

甲南第二小学校敷地内に学童保育所設置

山岡議員が昨年六月議会で質問

甲南第二小学校敷地内に学童保育所を設置するための設計予算(四百万円)が令和8年度予算で計上されました。令和8年度で設計、令和9年度で建設し、令和10年度開所予定です。現在は、40名を超える児童が、三ヶ離れた甲南中学校前の旧ボランティアセンターに臨時で開設している「甲南なかよし学童保育所」に通園しています。あと二年間は現状のままですが、かねてよりの願いであった学校敷地内に学童保育所が開設される動きに喜びの声が広がっています。昨年六月議会。山岡光広議員の一般質問の要旨を紹介します。

山岡 甲南第二小学校区にも独立した学童保育所の設置を求めて質問します。今回の一般質問では、同じテーマで3人の議員が質問することになりました。それだけ、切実で共通した課題であるということだと思います。

甲南地域は、令和7年4月の学童保育所入所希望が多くて、待機児童を出さないために、甲南中学校手前にある旧ボランティアセンターの施設を活用して、甲南なかよし児童クラブが開設されました。緊急対策として施設を確保していただいたことは、評価したいと思えます。

しかし、そこに通所する子どもたちは、校区外にある甲南第二小学校の子どもたちです。学校から児童クラブまで3キロ以上離れているために、支援員が日々送迎しています。現在、第二小学校から甲南な

かよし児童クラブに通う子どもたちは42名、いわゆる1単位40名を超えている現状です。本来は、第二小学校敷地内、あるいは学校周辺に学童保育所を早急に設置するべきではないでしょうか。

こども政策部長 放課後児童クラブの令和7年4月入所申込みを昨年10月に実施したところ、特に、甲南なかよし児童クラブと杜のなかよし児童クラブにつきましては、甲南中部・甲南第一・甲南第三小学校の三つの小学校の児童が利用いただいています。105名の合計定員を38名も超えるという状況でした。

待機児童を出さないことを最優先に、また、子どもたちにとってできる限り環境のよい施設を用意したいという思いから、短い期間の中で、甲南中学校前にある旧甲賀市市民福祉活動ボランティアセンターを甲南なかよし児童クラブの新しい支援単位として再整備をし、この4月から甲南第二小学校の児童に御利用いただいております。施設面では、良好な環境を提供できましたが、小

令和8年設計、令和9年建設、令和10年開所予定

学校から児童クラブまで支援員による送迎が必要であること、保護者のお迎えも負担になることから、甲南第二小学校の学区内に児童クラブを開設してほしいという声をいただいております。

市いたしました。甲南第二小学校の利用児童数が40名を超えて一定の規模となったこと、子どもや保護者の送迎の負担についてのお声もいただいていることから、甲南第二小学校の学区内で放課後児童クラブを開設することを目標に、施設探しに取りかかっております。

学校付近の空き家の所有者の方に下見をさせていただいたり、公民館の借用について御相談し、下見をさせていただいたりしたところです。開設時期につきましては、早急に進めてまいります。候補施設の選定、借家の協議、施設の改修設計・改修工事が見込まれるため、最短でも9年度になる見込みです。

山岡 先ほども言いましたように、この問題、3人の議員が質問しています。同僚議員の質問に対して、小学校近くの杉谷公民館を改修して学童を開

設するという旨の答弁がありました。私は、一案と思います。しかし私は、あえて、学校敷地内で学童保育所が開設できないのか。そういう検討をされたのかどうか、お尋ねします。

教育部長 まず、今回設置に当たりましては、当初、甲南第二小学校の余裕教室の部分について確認の協議がございました。甲南第二小学校につきましては、ほぼ児童数も変動もなく、現在に至っているのが現状です。余裕教室の部分につきましては、ないということ返答をさせていただきました。

それ以降は、基本的に細かい協議等については行っておりません。こちらからも積極的な提案等については行っていないというのが現状です。

こども政策部長 余裕教室については小学校へ問い合わせた時点で、現状では厳しい、ない、というふうなことです。こども政策部から学校の敷地内に建てられる、整備できるような場所は、ということでも学校にお聞きもさせていただきましたが、今のところは敷地内も厳しいというお答えをいただいているところでございます。

山岡 それこそ一案ですけれど、学校、道をまたぐということではありますけれども、第二小学校のグラウンドがあまりありません。そのグラウンドの一角、一番奥のところは、考えられないのかどうか。子どもたちにとって、グラウンドという遊び場を確保しながら学童保育をするというのには非常に大事なことで、と思うんです。今のボランティアセンターのところでは遊び場すらない。そういった

意味では、学校のグラウンドを活用できるということも含めて、そういったことが考えられる余地がないのか。

教育部長 ほかの学校でも事例もございまして、選択肢の一つではあると認識しております。

ただ、グラウンドに児童クラブを設けるに当たりましては、体育の授業での利用及び運動会での児童の安全面の確保をはじめ、活動に制限が生じないことが要件ではあると思っております。そういったところから、学校との詳細な調整が必要と認識しております。

また、加えまして野球とかサッカーのスポーツ少年団、また、その他団体が利用していることから、こちらの団体との調整も必要かと思えます。これら調整を図った中で、最終的に判断するものと認識しているところです。

こども政策部長 いま、地域の施設をお借りするという方向で進めておりますけれども、一つの案ということで御提案いただいたことも含めまして、至急に一番いい方法、できる限り一番いい方法を検討して進めていきたいと考えています。

山岡 現場を見ていただいたら、物すごく支障があるというふうなスペースではないグラウンドの一番隅っこです。いろんな体育に関する行事をする中でも、支障がないというところですので、現場をもう一回双方が確認していただいていること、ぜひ検討していただきたいと思います。

